

FanFanFan

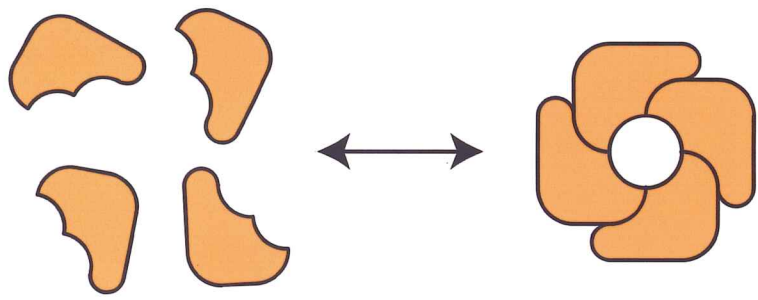
～まちの空気をかき回す新たな縁台～

人の心は何に惹かれるのだろうか。
神秘的なもの。興味のあるもの。不思議なもの。
この縁台には、渦に吸い寄せられるように
人が集まり、その中で新たなコミュニティが生まれる。
あるいは風を送る扇風機の羽のように、人を動かす
原動力となる。コミュニティという形に現れずとも、
そっと誰かの背中を押す。そうして生まれる人々の熱は、
ひょうたん島を包み、とくしまを包み、活気を取り戻す。
そんなきっかけを地域の中心へ。



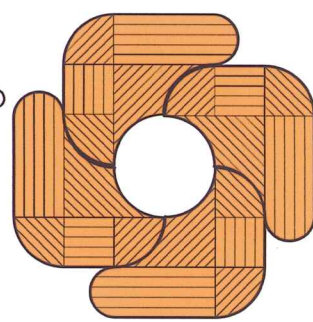
1 セパレート⇔コンバイン 二つの姿

我々が提案する縁台の特徴として、4つに分割して使うセパレートタイプと合体させて使うコンバインタイプの二種類の使い方ができることが挙げられる。時と場合によって羽の数を調節することで、丁度良い距離感でコミュニケーションを取ることができる。また、他人とスペースを分け合うことで秘密の関係のような、曖昧な新しい関係を生み出す。中央の部分に木を持ってくることで、お花見気分にも、木陰に隠れてお昼寝気分にも、様々な場面での活用が考えられる。



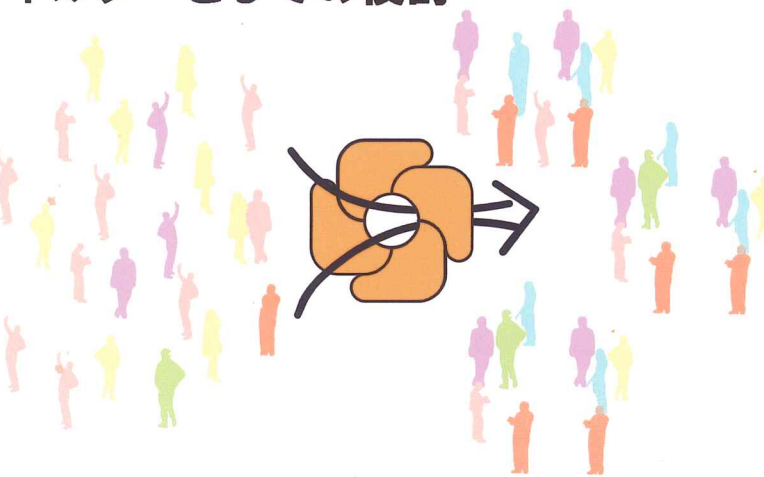
3 吸い込まれそうな渦模様

FanFanFan は文字通り扇風機の羽の形を組み合わせ構成されているが、それぞれの模様は中心に向かって吸い込まれるように配置されており、徳島県を代表する鳴門の渦潮を彷彿とさせる。この渦に吸い込まれるように人が集まり、日々賑わいを生み出す。模様の部材もロスが少ないよう考えられており、低コストでの実現も可能になっている。



2 コミュニティフィルターとしての役割

FanFanFan を通して、人々は様々な人に出会う。いつも見かけるあの人や、初めて見かけたあんな人。そういった浅い関係から、同じ場所を共有するという特別な体験を通して、少し親近感を持つ。そんな日が続けば、勇気を出して話しかけてみよう。そうして人を巻き込み新たなコミュニティの形成へと繋がっていく。出来上がったコミュニティは次第に数を増やし、FanFanFan には絶えず人が集まる。



4 図面 S=1:50

少し大きめに設計した FanFanFan は、人を包み、コミュニティを包み、その熱をとくしま全域へと拡散する。ゆったりと安定したその本体は、身を任せ、熱く語り合うには十分である。板材に足を四脚ビス止めし、その上にカットした角材を貼り付けて完成させる。少し重たくなってしまいが、皆で運ぶときの出会いも大切にしたいという思いから設計された。

